

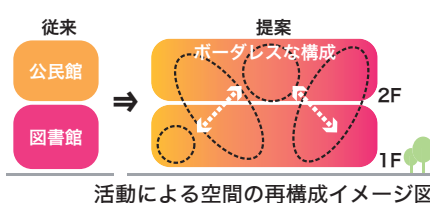
### ■設計コンセプト

## 学ぶ喜びを見つけることができ、ずっと居たくなる「居場所」をつくります

#### 空間構成の方針

活動が主体！ 様々な居場所がボーダレスにつながる空間構成

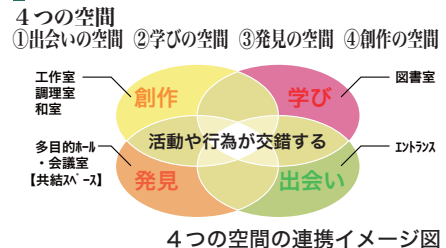
#### 活動による空間の再構成



#### 諸機能配置の方針

利用を活性化！ 活動や交流を最大限に引き出す4つの空間の連携

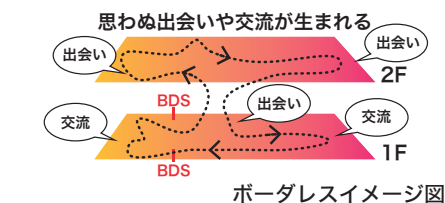
#### 4つの空間で機能をまとめる



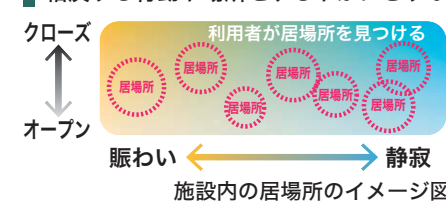
#### 動線計画の方針

自由に移動！ 人と本の自由な移動と管理のしやすさを両立する動線計画

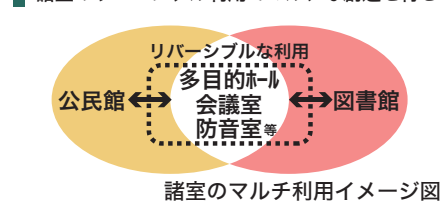
#### ボーダレスで立体的な回遊動線



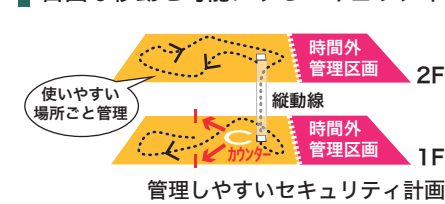
#### 相反する行動や場所をゆるやかにむすぶ



#### 諸室のリバーシブル利用でマルチな創造を育む

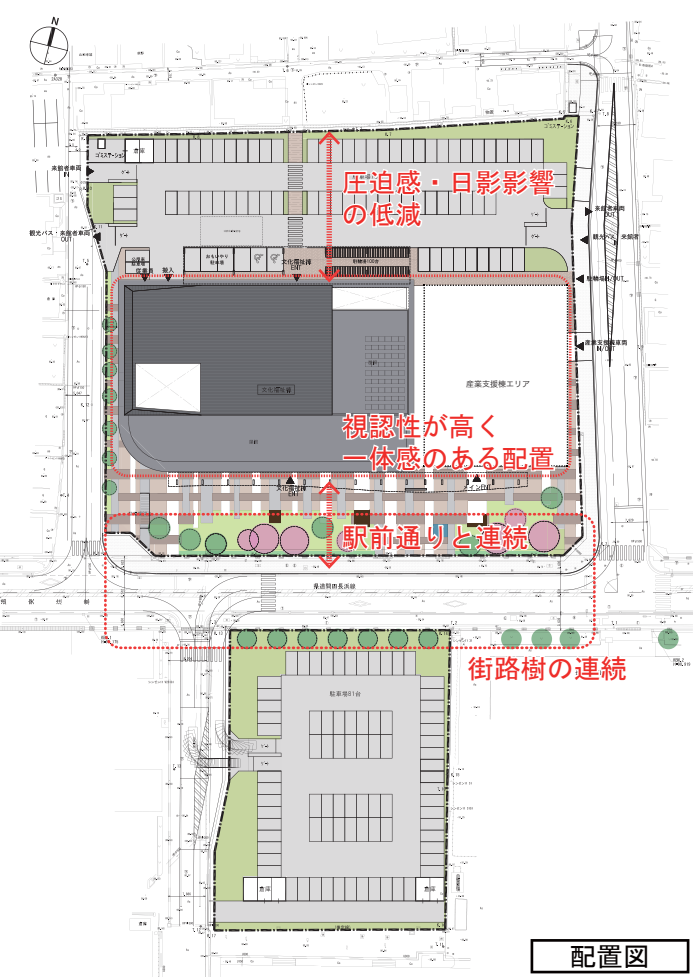


#### 自由な移動を可能にするセキュリティ



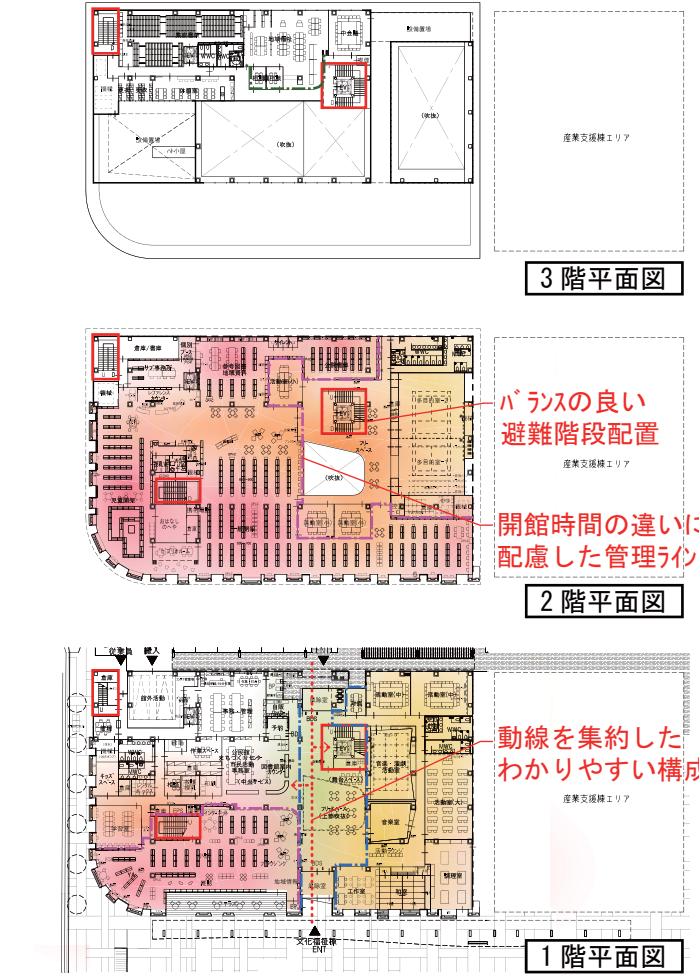
### 配置計画

- 1) 駅前通りと連続した緑地空間を活かす前面広場
- 2) 北側住居の生活環境に配慮した駐車場配置
- 3) 産業支援棟と一体感を持たせた建物配置



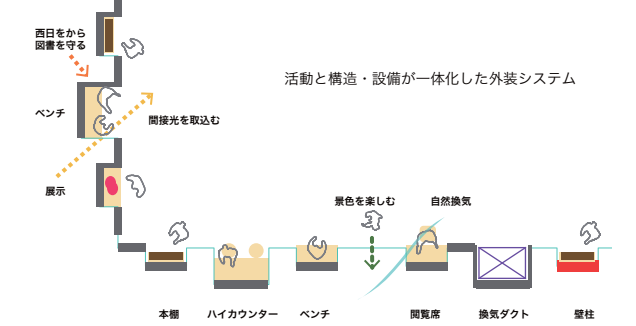
### 平面計画

- 1) 利用者の使いやすさに配慮したユニバーサルデザイン
- 2) 開館時間の違いに配慮したセキュリティライン
- 3) 動線を集約したわかりやすい構成



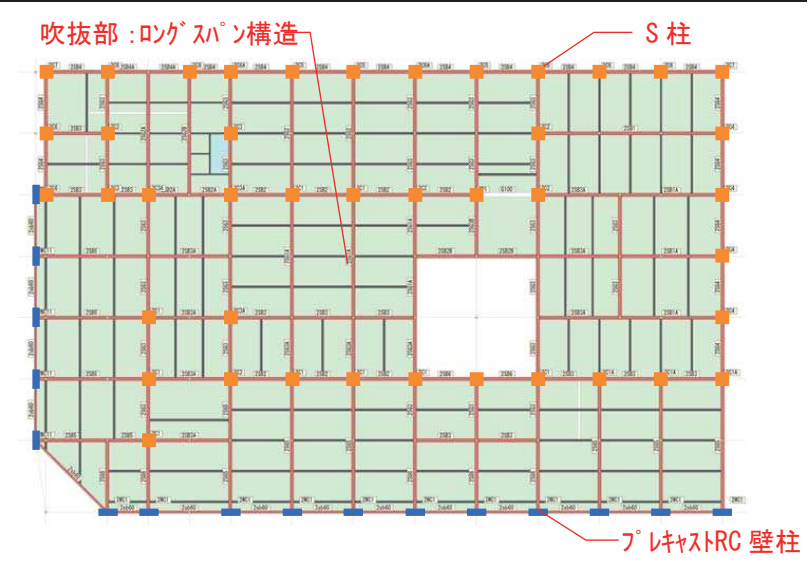
### 立面計画

- 1) 産業支援棟と軒を揃え一体感のある外観
- 2) 伊吹山系や琵琶湖のさざ波をイメージした外観
- 3) 居場所をつくる多様な外壁形状



### 構造計画

- 1) 耐震性能
  - ・建築基準法で求められる建物耐力の1.25倍以上の強度を有する建物とします。
- 2) 基礎計画
  - ・「砂礫層」を支持層とする杭基礎とします。
  - ・杭種別は既製コンクリート杭とし、液状化に十分配慮した設計とします。
- 3) 上部架構計画
  - ・高いフレキシビリティを確保するロングスパンを実現する鉄骨純ラーメン構造とします。
  - ・南西面はプレキャストRC壁とし、意匠壁と兼ねた構造部材とします。



### 設備計画

- 1) 電気設備
  - ・照明器具は高寿命・省電力なLED器具を採用します。
  - ・各種センサー（人感・昼光等）、タイマー等による点灯制御を効果的に行い省エネルギーに配慮します。
  - ・太陽光発電設備を設置します。
- 2) 機械設備
  - ・空調熱源は電気とガスのベストミックス手法を採用します。
  - ・天井の高い図書エリアは床下空調システムにより効率的に空調を行います。
  - ・冬季の天井付近の暖まった空気の利用や、夏季の地中熱利用により空調負荷の低減を図ります。

